



復職を目指す 育休ママ・専業ママへ

ママボノ

mamabono

「ママ」と「社会」と「働く」をつなぐ

ママボノ2017報告書

認定NPO法人サービスグラント

2018年3月30日

企画・運営



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

目次

1. ママボノ概要
2. ママボノ2017実施報告
3. プロジェクト成果
(参加者概要・支援先一覧・成果物)
4. 参加者アンケート結果概要
5. 支援先アンケート結果概要
6. 外部アンケート結果概要
7. メディア掲載

1. ママボノ概要



「ママ」と「社会」と「働く」をつなぐ ママボノ

ママボノは、育休復帰や再就職など、
再び仕事への一歩を踏み出すママのための
期間限定プログラム。
**これまでの仕事やスキル、
子育ての経験を活かし、
ママの力を求めている**
NPO団体の活動支援を行います。

ママ

+

プロボノ

=

ママボノ



プロボノとは
専門的なスキル・経験等を
ボランティアとして提供し
社会課題の解決に成果をもたらすこと

**Pro
Bono
Publico**

(ラテン語)

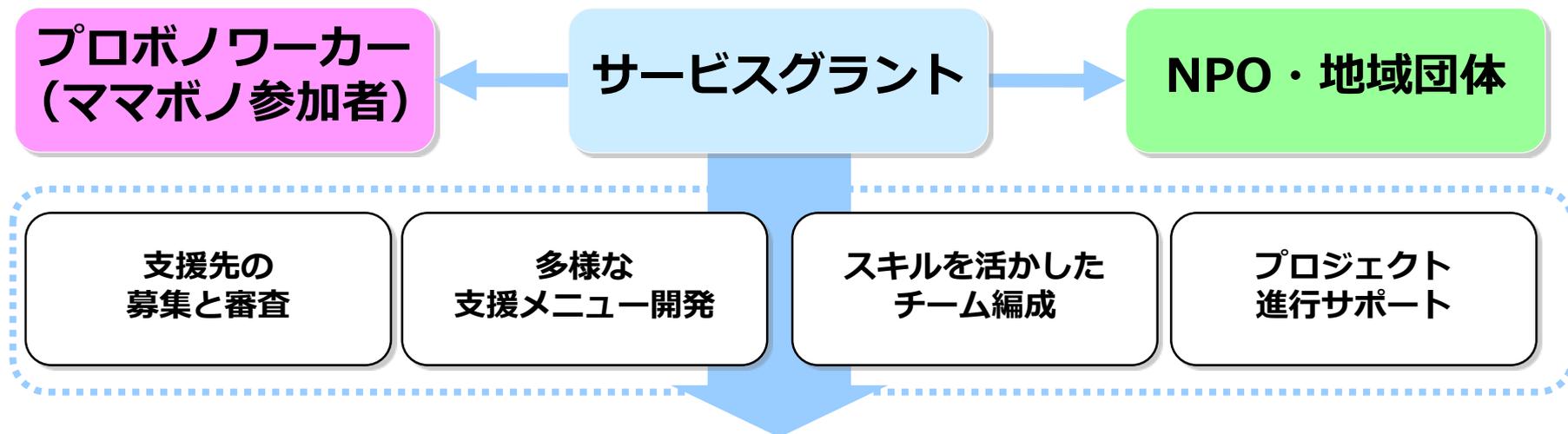
**For
Good
Public**

(英語)

[公共善のために]

サービスグラントとは

サービスグラントは、プロボノに特化したコーディネートを通じてNPOや地域団体を支援するNPOです。長年のノウハウを標準化・仕組化し、より多くの社会人が参加できるように、新たなプログラム開発を行っています。



支援先の運営基盤強化に役立つ具体的な成果物





ママボノは、NPOや地域団体が抱える組織経営、事業運営上の課題を、社会人が仕事で培っている経験やスキルで補完することで、ともに組織を強化し、社会的困難の軽減、社会課題の解決を目指す取り組みです。

ママボノ参加者

復職へ向けて、
スキルや働き方を見直し、
スキルを高めたい。

仕事・子育て・家庭+α
視野を広げる経験を
したい。

働く女性同士の
ネットワーク
を広げたい

ママボノ プロジェクト

支援先

恒常的なヒト・モノ・カネの資源不足

子育て世代の視点、
ママの視点を活かした
提案がほしい。

7割のNPOがなんらかの支援要。実際の提供は12%程度。(※)

※米国タッブルートファウンデーション
Mandi Chappell氏 セミナーより

将来の復職・仕事再開に向けて

コミュニ
ケーション

課題解決力

視野の広がり
社会への関心



<http://mamabono.org/>

ママボノに参加する 支援を受ける 企業に導入する お問い合わせ SERVICE GRANT

ママの「働く」は、もっと輝く！

復職を目指す、全てのママたちへ。
仕事復帰をもっとハッピーにするために、
ママになった今だからこそ出来る社会貢献活動を提案します。

ママボノとは？

ママボノ
mamabono

NEWS / EVENT

ママボノ5周年記念イベントを開催します(2018/3/17)

ママボノ2017のプロジェクトの様子をFacebookでご紹介しています

大宮でもオリエンテーションを実施しました

ママボノ2017がスタートしました

2017年度の参加者募集を締め切りました(W35)

ホームページをリニューアルしました。

ママボノとは？

支援を受ける

企業に導入する



育児復帰や再就職など、再び仕事への一歩を踏み出すママのための期間限定プログラム。これまでの仕事やスキル、子育ての経験を活かし、ママの



「ママボノ」はNPOなどへのサポートを通じ、社会課題解決に資することを目的としています。参加者数でチームを組み、そのスキルを活かしな



異なる立場、異なる目的で仕事を経験してきた異業種のママ同士がチームを組み、リアルな社会課題の解決に向けてプロジェクトを構築していくママ

2. ママボノ2017 実施報告

開催場所： 東京・大阪

チーム数： 東京 12チーム、大阪 4チーム

募集人数： 東京 86名、大阪 22名

ママボノ参加者

- ・ 育児休業取得中の女性
- ・ 再就職を視野に入れている子育て中の女性

支援先対象団体

- ・ NPO法人
- ・ 任意団体（市民活動団体）
- ・ 地域活動団体（町内会・自治会・子ども会・老人会等）
- ・ 各種公益法人（一般・公益社団法人、一般・公益財団法人等）
- ・ 株式会社・有限会社等で社会課題に関する取り組みを行っている事業者

ママボノの流れ（全体スケジュール）

参加者

支援先



オリエンテーション

- チームメンバー顔合わせ
- プロジェクト準備開始



キックオフミーティング

- チームと支援先との顔合わせ
- 活動についてヒアリングなどを実施

プロボノワーク

- ①ヒアリング
- ②調査
- ③成果物制作



成果提案ミーティング

- 支援先への成果物提案、活用法の提案



成果報告会

- 他チームとの成果共有（全体会）
- プロジェクト振り返り

納品

- 提案のフィードバックを受け、修正

【東京】

日時：2017年10月11日（水）

会場：ビジョンセンター東京（東京駅）



【大阪】

日時：2017年10月18日（水）

会場：都市魅力研究室（大阪駅）



ママボノプロジェクトのオリエンテーションを実施、チーム顔合わせと、プロジェクト成果目標の確認、ミーティングスケジュールの調整、作業分担などをしました。

キックオフミーティング

【東京】

2017年10月24日（火）

於：ビジョンセンター東京（東京駅）

2017年10月31日（火）

於：東京ウィメンズプラザ（表参道）

2017年11月11日（土）

於：NS会議室（新宿）

【大阪】

2017年10月31日（火）

於：支援先オフィス

2017年11月2日（木）

於：都市魅力研究室（大阪駅）



支援先団体担当者との顔合わせ。団体の活動内容の確認、最終成果物イメージの確認、ヒアリング日程調整などを行い、いよいよプロボノワークが始まりました。

キックオフミーティング日～成果提案日

キックオフミーティング後、成果提案日に向けて、各チームでプロジェクトを展開。どの成果物を作成するにも、支援先団体への理解は重要なフェーズ。支援先訪問や、ヒアリングやアンケート調査から得た情報を整理し、成果物制作を行いました。

チーム活動例：



「日本IDDMネットワーク」 チーム

第1糖尿病に関する情報をより広く発信するためのウェブ改善提案。支援先への丁寧なヒアリング、チームメンバー自宅でのチームミーティングなどを通しプロジェクトを実施しました。



「北新宿二丁目町会」チーム
若者の町会活動への参加を広げるためのFacebook活用提案。Facebookを立ち上げた後、紹介チラシを作成してイベントで配布、Facebook投稿の伴走などもし、Facebook活用を軌道に載せました。



「不動ヶ丘高齢者等生活支援プロジェクトほっとらいふ」チーム
高齢者の移動支援を広めるためのマニュアル作成。支援先が遠方ということもあり、ミーティングもオンラインがメイン。メールなどで作業分担しながらマニュアルを完成させました。

【東京】

日時：2017年11月29日（水）

会場：ビジョンセンター東京（東京駅）



【大阪】

日時：2017年12月6日（水）

会場：都市魅力研究室（大阪駅）



プロジェクトの集大成である最終成果物の提案と成果物活用のご提案をチームごとに終え、全体で成果報告会では全チームの成果物を共有しました。

ママボノ5周年記念イベント

～ママだからこそ、私らしくイキイキとはたらく



日時：2018年3月17日（土）

会場：Nagatacho GRID（永田町）



- ◆ Session1：「働く女性が置かれている環境、ママボノの価値」ママボノの外部調査結果報告、ママボノの価値についてのパネルディスカッション（登壇者：藤澤理恵氏／株式会社リクルートマネジメントソリューションズ、飯田暁子氏／日本放送協会（NHK）報道局）
- ◆ Session2：「ママボノ経験を経て、子どもを持ちながら働くとは」ママボノ参加経験者の復職後体験談
- ◆ 交流パート：参加者同士のグループ席で「イキイキと働く」をテーマに交流。当イベントからの気づきの共有、働く女性に関する意見交換など。

3. プロジェクト成果

(参加者概要・支援先一覧・成果物)

【参加者数】

東京 86名、大阪22名 合計108名

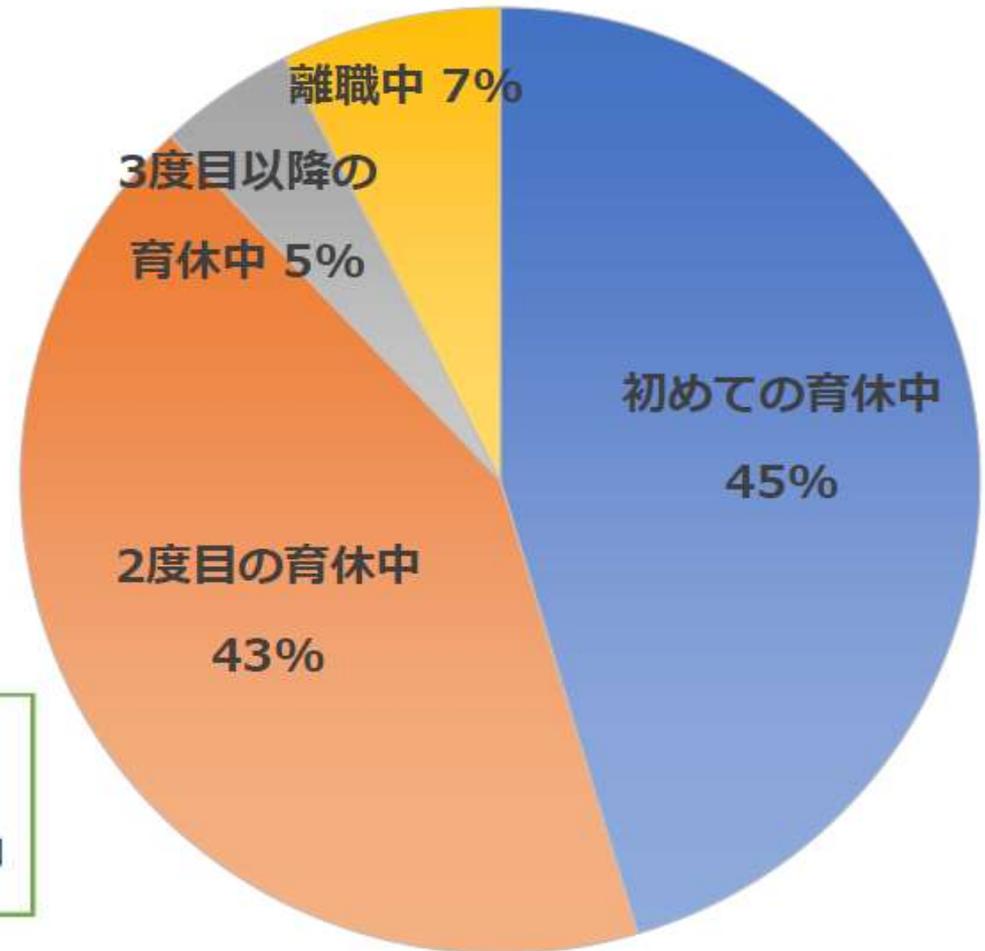
【参加時の状況】

初めての育休中 45%

2度目の育休中 43%

3度目以降の育休中 5%

離職中 7%



約9割が育休中の参加者、
その約半分は初めての育休、
約半数は2度目以降の育休での参加

【東京】支援先一覧



団体名	市区町村	支援メニュー
NPO法人障がい児・者の学びを保障する会（申請中）	東京都練馬区	課題整理ワークショップ
品川区社会福祉協議会「さわやかサービス」「ファミリー・サポート・センター」	東京都品川区	マーケティング基礎調査
社会福祉法人日本国際社会事業団	東京都文京区	課題整理ワークショップ
認定NPO法人日本IDDMネットワーク	佐賀県佐賀市	ウェブ改善提案
NPO法人東京釣り協会	東京都台東区	Jimdo・Wixウェブサイト制作
NPO法人一期JAM	東京都大田区	チラシ制作
NPO法人シャイン・オン・キッズ	東京都中央区	チラシ制作
NPO法人子ども教育立国プラットフォーム	東京都文京区	課題整理ワークショップ
NPO法人多摩子ども劇場	東京都多摩市	マーケティング基礎調査
井の頭一丁目町会	東京都三鷹市	マーケティング基礎調査
大森本町北町会	東京都大田区	作業効率化提案
北新宿二丁目町会	東京都新宿区	FB・SNS活用

【大阪】支援先一覧

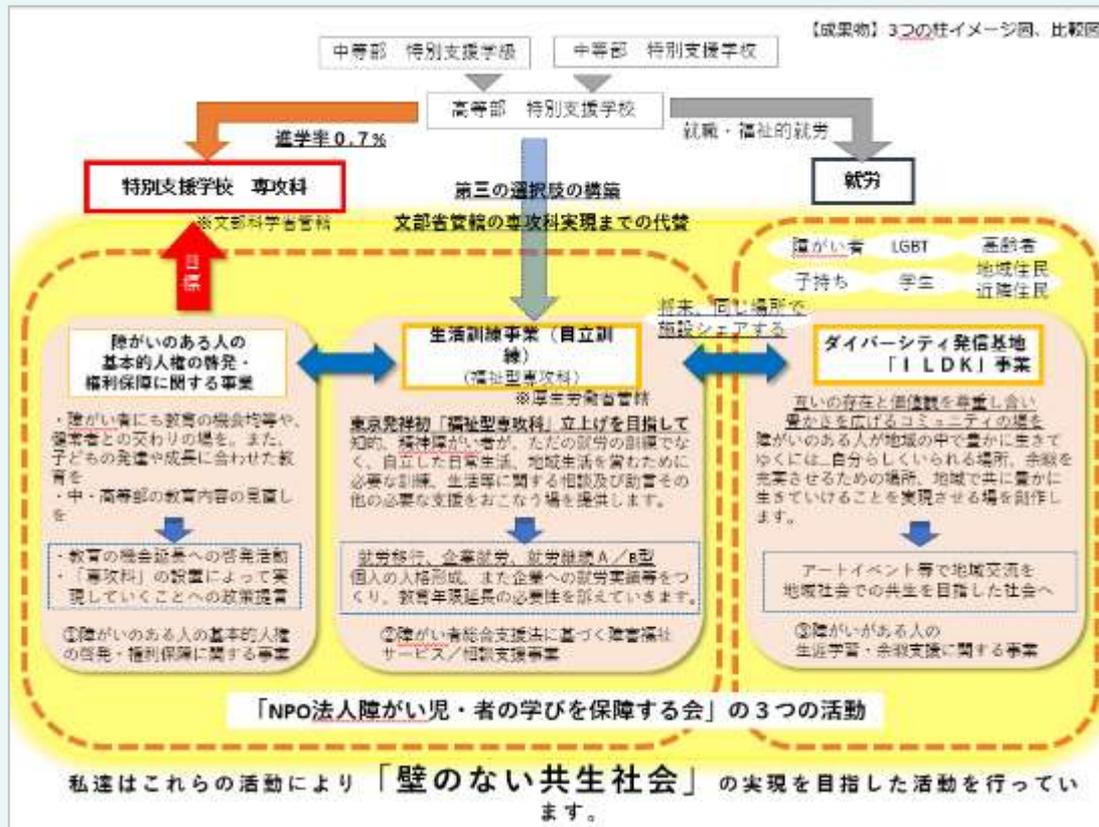


団体名	市区町村	支援メニュー
NPO法人 ソーシャルサポートセンターひょうご	兵庫県 神戸市	スペース活用ワークショップ
不動ヶ丘高齢者等生活支援プロジェクト ほっとらいふ	大阪府 富田林市	プログラム運営マニュアル
NPO法人 きんきうえぶ	大阪府 富田林市	営業資料
NPO法人 フェリスモンテ	大阪府 大阪市	印刷物

障がい児・者の学びを保障する会

課題整理

活動の趣旨、活動内容をわかりやすく伝えるための広報に関する課題整理を行いました。



品川区社会福祉協議会 さわやかサービス/ ファミリーサポートセンター

マーケティング基礎調査

「さわやかサービス」と「ファミリー・サポート」の協力会員を増やすためのマーケティング基礎調査を行い、現状の課題（主に広報について）をまとめ、広報方法（チラシの表現やSNS戦略）を中心に、ターゲットとなる人へのアプローチ方法を提案しました。



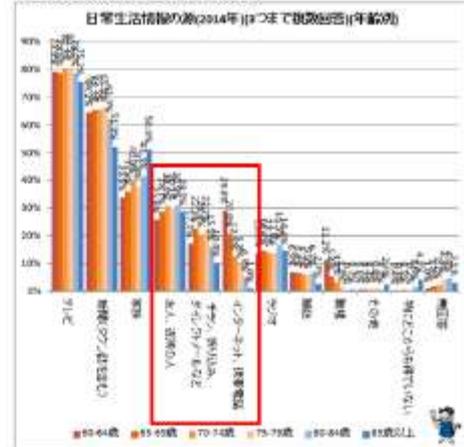
4-1. 広報媒体 - 有効な広報媒体の選定

- 品川区における“区に関する情報”入手手段は、「区報」が圧倒的。ついでHPである
- シニア層の情報源として「口コミ」「チラシ」「インターネット」は重要な位置づけ

▼ 区に関する情報の入手先 (性別/年代別) データ種別

属性	項目	品川区ホームページ							
全体 (1,07)		59.6	20.1	16.4	15.3	10.8	6.1	1.1	1.0
男性 (計)	464	57.3	19.8	15.3	14.0	10.1	7.3	1.3	1.7
20代	45	31.1	20.0	0.0	8.9	0.0	4.4	0.0	0.0
30代	88	34.1	20.5	9.1	15.6	6.8	2.3	4.5	2.3
40代	101	42.6	27.7	6.9	8.9	9.9	4.0	1.0	1.0
50代	71	70.4	28.2	19.7	14.1	11.3	9.9	1.4	0.0
60代	91	78.0	13.2	20.6	16.5	13.2	7.7	0.0	2.2
70歳以上	68	85.3	7.4	23.5	22.1	16.2	17.6	0.0	4.4
女性 (計)	606	61.4	20.3	17.2	16.3	11.4	5.1	1.0	0.5
20代	80	28.3	15.0	5.0	13.3	5.0	0.0	1.7	0.0
30代	124	44.4	32.3	10.5	12.9	7.3	1.0	2.4	0.8
40代	123	67.5	31.7	13.0	11.4	12.2	2.4	0.8	1.6
50代	96	61.5	22.9	18.8	16.7	9.4	2.1	0.0	0.0
60代	117	76.9	11.1	29.9	22.2	17.1	2.6	0.9	0.0
70歳以上	86	79.1	0.0	22.1	22.3	15.1	5.8	0.0	0.0

▼ 日常生活情報の源 (年代別)

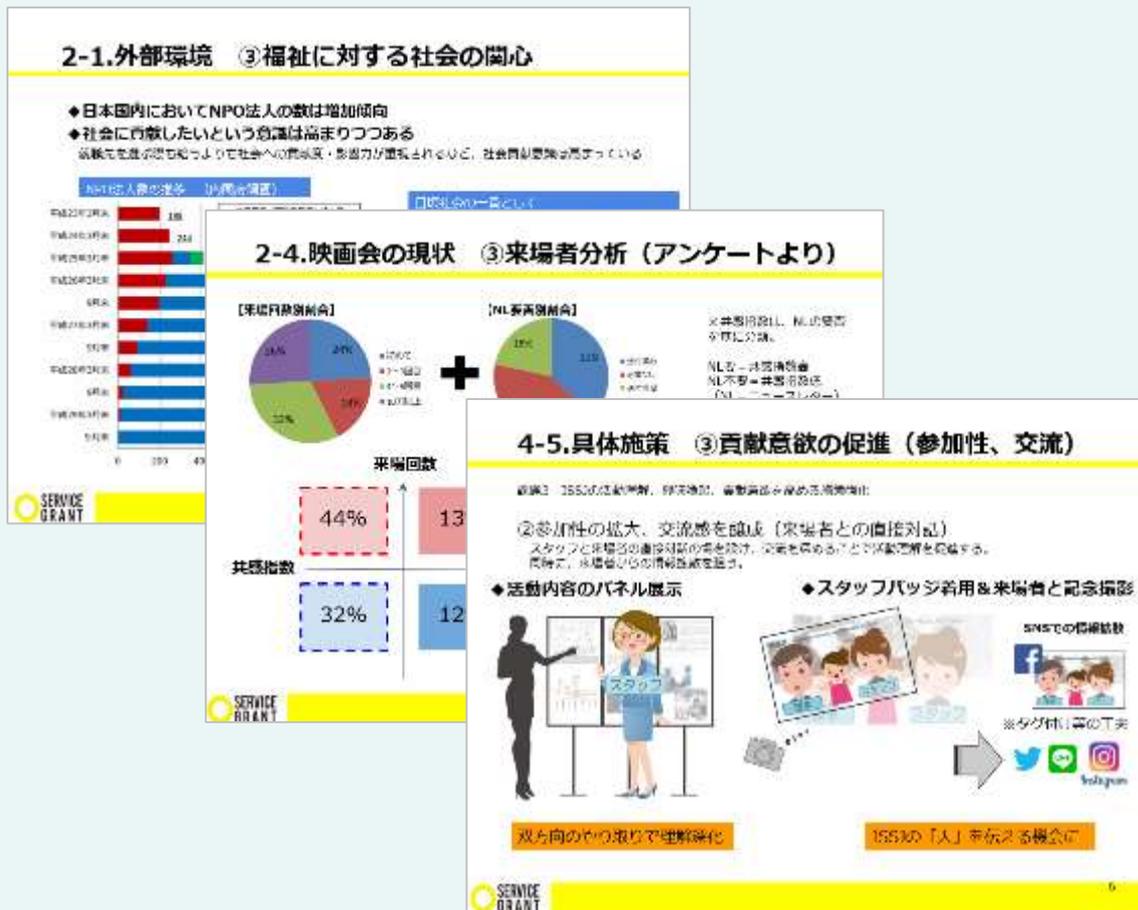


【参考】品川区社会福祉協議会「品川区の日常生活に関する意識調査結果より」
http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hq/page000030300/hq000030210.htm

日本国際社会事業団

課題整理ワークショップ

「チャリティー映画会」開催に関する課題整理を行い、チャリティの場であると同時に寄付者や理解者との交流の場としても映画会を発展させるための提案を行いました。

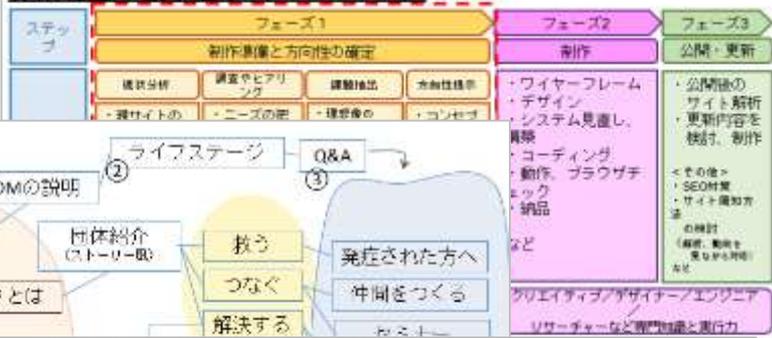


日本IDDMネットワーク

ウェブ改善提案

1型糖尿病の当事者をはじめ、周囲の理解を深めることを目的に、優先順位の高い情報へのアクセスをよりスムーズにできるようウェブサイトの改善提案を行いました。

作業範囲の振り返り（フェーズ1）



5. サイトマップ

- TOP項目名
- 1型糖尿病とは
 - 日本IDDMネットワークとは
 - パナー写真
 - スローガン (例: 2025年)
 - 参加する
 - NEWS
 - 関連グッズ
 - おすすめコンテンツ
 - SNS
 - 団体概要(フッタ)
 - お問い合わせ(フッタ)

レイアウトと遷移イメージ 参考 (病気について - 第三階層)



東京釣り協会

Jimdo・Wixウェブサイト作成

高齢者から子どもまで楽しめる余暇の過ごし方としての釣りの魅力を伝え、大会への参加や、都内各地にある釣り愛好会の情報など、活動をわかりやすく伝えられるウェブサイトを構築しました。



<https://totyokyo.wixsite.com/mysite>

子ども教育立国プラットフォーム

マーケティング基礎調査

会員参加型の団体運営を実現するために、現状の団体内の課題整理をするとともに、今後の団体運営の具体的なイメージやその実現に向けたプランの提案を行いました。

6. まとめ

課題解決に向けた、明日からのアクションのご提案

3. 当プロジェクトの進め方（我々のアプローチ）

- 当プロジェクトにおける支援内容は「会員参加型団体運営実現のための現状課題整理」と「運営の具体的なイメージ、実現プランのアイデア」の2点。

- 成果物の
心と意
の上ア
のアン
あママ

2. 今回のご依頼内容とゴールの確認

ご依頼内容（課題認識）

- 今までのNPOとは異なる新しい組織の在り方を模索したい

子ども教育立国プラットフォーム
課題整理プロジェクト

最終報告書

- 「会員参加型」
・会員、内外部
（子ども中心）
→ 会費、団費
負担を軽減

- 「運営の具体」
・参加しやすい
→ 上記と併

2017年11月29日



多摩子ども劇場

マーケティング基礎調査

幼少期の子どもを持つ各地域の会員を増やすためのマーケティング基礎調査を行い、親子以外の担い手を増やすための提案も行いました。

ヒアリング調査：結果まとめ

調査①②：会員&親会者

入会経路

3-2. ②認知されるためのアイデア (Attention)



加してパンフ
加し、その後

一般の方に多摩子ども劇場について説明する際、活動内容が明確にわかるように下記5点に絞ることを提案する

1-2. 会員獲得のためのチェックポイント

調査目的である会員獲得に向けて、仮説として考えうるチェックポイントを以下の5点にまとめて検討していく

『「家庭
トを体験でき
があがった。
意識を持った
地域貢献活

『人との繋
げる楽しさを

1-1. 与件整理

「多摩子ども劇場」の現状と今回のマーケティング基礎調査の目的、及び期待については、10/31実施のスタッフオフミーティングにおいて以下の通り

【NPO法人多摩子ども劇場 マーケティング基礎調査プロジェクト】

マーケティング基礎調査 サービスグラント 調査報告

2017年11月29日



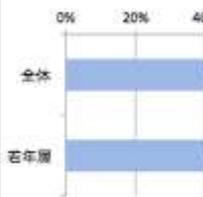
井の頭一丁目町会

マーケティング基礎調査

みんなのブックカフェ（赤ちゃんとママの会、シニアヨガなど多世代交流の場）、麻雀・囲碁・将棋の会などの交流の場づくり、「防災を考える会」を中心に災害に強いまちづくり、安全安心パトロール、学童保育の子どもたちの見守りなど、近年、活発化しつつある町会活動。この活動をさらに発展させ、より幅広い住民参加につなげるための広報の在り方に関する調査を行い、ツールに関する改善策の検討や、インターネットの活用など、今後の効果的な情報発信に求められることを整理しました。

課題：町会に対する認知

1. 井の頭一丁目町会があることを知っていますか。
2. 町会をどのような手段で知りましたが、
(複数回答可)



5. 入会促進施策 申し込み方法の見直し

②入会申し込みの流れの見直し

現状

働き世代だと、来てもらう日時を調整するのが面倒に感じたり、家に人が来ることも避けたい

都合がつかず、
するのは？



3. 町会だよりの改善 町会だよりの改善サンプル

実際に作ってみました！

最初に町会からのご挨拶を、形式的ではなく、親しみやすいコメントが良い。

タイトルはちょっと興味をひく内容に工夫を。

文章も簡潔に。

町会だよりにイベントを知りたい人が多いので、情報をわかりやすく整理。日程など、伝えたいポイントを強調。

小さいスペースの記事でもポイントがわかりやすく。

最後にお誘いを先をわかりやすく。

★一番のポイント★
カラーで、レイアウトを工夫し、内容にメリハリをつけることで、どの世代の方も読みやすい紙面に。

イラストを入れて、**季節感**を出す。

イメージが伝わりやすいよう**パリエーション**を添える写真を積極的にあくとよい。

ヒアリングで全世代が関心のあった「防災情報」。情報をお知らせだけでなく、毎月ちょっとした防災情報をお知らせする。検定だけでなく、「安全安心の町」のイメージづくりとしても、町会だよりをストックしておく人が増える可能性も。

入会完了



北新宿二丁目町会

Facebook・SNS活用

若い世代をはじめとする幅広い住民に関心を持ってもらい、イベントにもっと足を運んでもらうことを目的として、Facebookページを立ち上げ、情報発信の強化に挑戦しました。まずは年末に開催を予定している「防災教室」への集客を目標に、町会とプロボノチームが投稿する記事の内容を練り上げながら、約1か月半、運用を伴走しました。また、複数の人が投稿しても一定のクオリティを維持できるような簡単な手順書を合わせて作成しました。



ソーシャルサポートセンターひょうご

スペース活用ワークショップ

2011年の東日本大震災時に障がい者が住居に困っていた状況から、障がい者のグループホームを運営するようになり、その後グループホームは4か所に増え、喫茶店「明石ヴィレッジ」と無農薬野菜販売「ナチュレ神戸」での就労継続支援B型事業、相談支援事業なども行っています。

この団体の活動や障がいについて知ってもらうことを目的とした地域の人との交流、つながりを促進するために、喫茶店「明石ヴィレッジ」のスペース活用を考えました。さらに、地域とのつながりという点でのご提案をしました。

ママボノ2017 ソーシャルサポートセンターひょうごチーム

■花壇プロジェクトの詳細

- ◆ 実施日：12月上旬～中旬頃（再相談）
- ◆ 種苗：未定（時期により）
- ◆ 想定人数：10名程度
- ◆ 費用負担等：種苗はママボノが負担、鉢・コップ等必要な用具は参加者各自が用意

ママボノ2017 ソーシャルサポートセンターひょうごチーム

■花壇プロジェクトの内容

地域の方々と一緒に、Café「明石ヴィレッジ」のスペースを活用して交流を深めます

ママボノ2017 ソーシャルサポートセンターひょうごチーム

【活動の目的】

- ① 明石ヴィレッジ利用者さんと地域の方で交流してほしい
- ② 明石ヴィレッジのスペースを活用して交流を深めたい

現状（＝課題）

利用者さんは職員さんとの交流がメインであり、地域の人とのふれあいがほしい



理想の状況

利用者さんは地域の人と交流を持て、おり地域の方は利用者さんへの理解がある



まずは、地域との交流が課題！

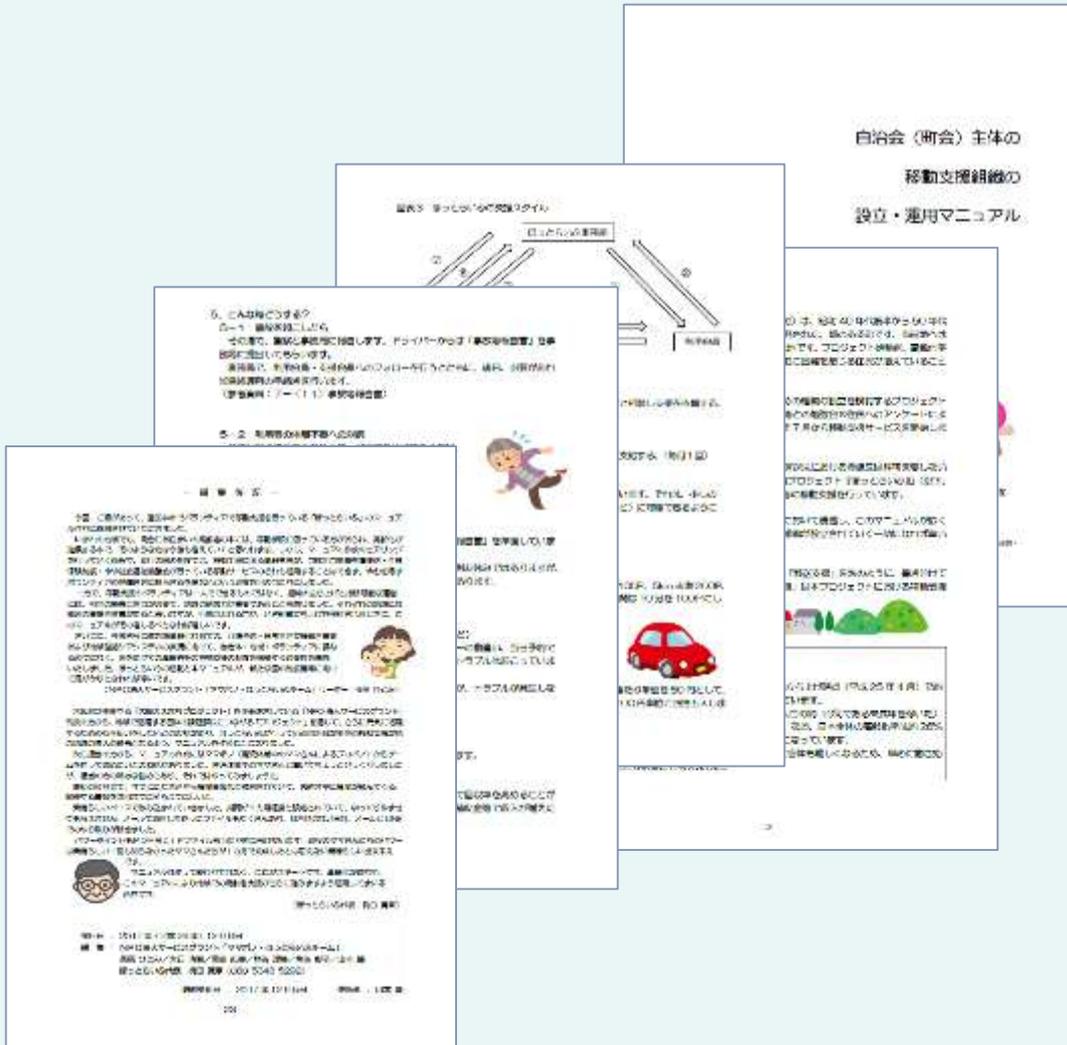


ほっとらいふ

プログラム運営マニュアル

これまでほっとらいふが活動してきたIT支援を柱にした住民同士による生活支援について、準備期間から立ち上げに至るまでのプロセスや現在の運営における工夫などを棚卸し、マニュアルを作成しました。新たな担い手へのノウハウの伝達や、他地域で活動する団体に参考となるよう、資料の作成に取り組みました。

自治会（町会）主体の
移動支援組織の
設立・運用マニュアル



自治会の役割

自治会は、地域の住民の生活を支える役割を担っています。移動支援組織の設立・運用には、自治会の協力が不可欠です。自治会では、地域のニーズを把握し、住民の声を代弁し、行政や民間団体と連携して活動を進めます。

活動の目的

本活動の目的は、高齢者や障害のある住民の移動を支援し、生活の質を向上させることです。また、住民同士の交流を促進し、地域コミュニティを強化することです。

活動の場所

活動は、地域の公民館や高齢者センターなどで行われます。また、住民の自宅まで出張サービスを提供することもあります。

活動の時間

活動は、毎月第1、3土曜日の午前9時から午後3時まで行われます。ただし、天候や参加者の状況によって変更される場合があります。

活動の費用

活動には、交通費や燃料費がかかります。自治会や住民からの寄付、補助金によって費用を賄っています。

活動の安全

活動中は、安全を最優先とします。運転手には、安全運転の徹底を求め、急なブレーキや急加速を避けます。また、参加者の体調や服装にも配慮します。

活動の記録

活動の進捗や参加者の状況を記録し、今後の活動に活かします。また、活動の成果を地域に発信し、認知度を高めます。

活動の課題

活動には、人手不足や資金不足などの課題があります。自治会や住民の協力、行政からの支援を求め、課題を克服していきます。

活動の展望

活動は、今後も継続して行われます。また、地域に合わせたサービスを開発し、住民の生活を支えたいと考えています。

お問い合わせ

お問い合わせ先：自治会事務局
TEL: 03-XXXX-XXXX
Eメール: xxx@xxx.jp



きんきうえぶ

営業資料

パソコンやスマホ、タブレットなどの教室を開催しながら、介護予防につながる街かどデイハウス、市内のNPO・ボランティアの中間支援機能を担う「市民公益活動支援センター」の運営なども担っています。

H28年度には「スマホでつくる小地域ネットワーク」事業を開始しました。隣近所の繋がりが強まり、地域への関心が高まることから地域活性化、小規模多機能自治の実現へと近づくこの事業を、他地域でも導入・実践していくことを呼びかけるような営業資料を作成しました。



このようなニーズにお応えします



きんきうえぶの強み



つながる
趣味がある

高齢者の社会的
孤立を解消したい

ICTと高齢者を軸とした事業で培った知見とノウハウ、そして何よりも地域社会への思いをもったきんきうえぶだからこそ、高齢者とスマホを効果的に結びつけ、つながりの輪を広げていくことができます。

きんきうえぶの思い

住み慣れた
いきいきと暮ら

※資料は本資料を基に作成したイメージです。実際のイメージとは異なる場合があります。

ココロがつながる
スマホでつながる

高齢者と関わ
きた知見



介護予防事業などで数多くの
接してきたからこそ知り得た
関する知識や経験

高齢者とICTに
是非きんきうえぶ

〇〇株式会社 〇〇部 御中

スマホでつくる小地域ネットワーク事業に関するご紹介

スマホでつくる小地域ネットワーク事業とは ③期待される効果



スマホ講師として人の役に立つことや、スマホ講習会を通してコミュニケーションの幅が広がることで、高齢者のいきいきとした暮らしにつながります。



4. 参加者アンケート 結果概要

目的：ママボノの効果検証

対象者：ママボノ2017参加者 111名

回答方法：ウェブ

回答期間：2017年11月29日～2018年1月16日

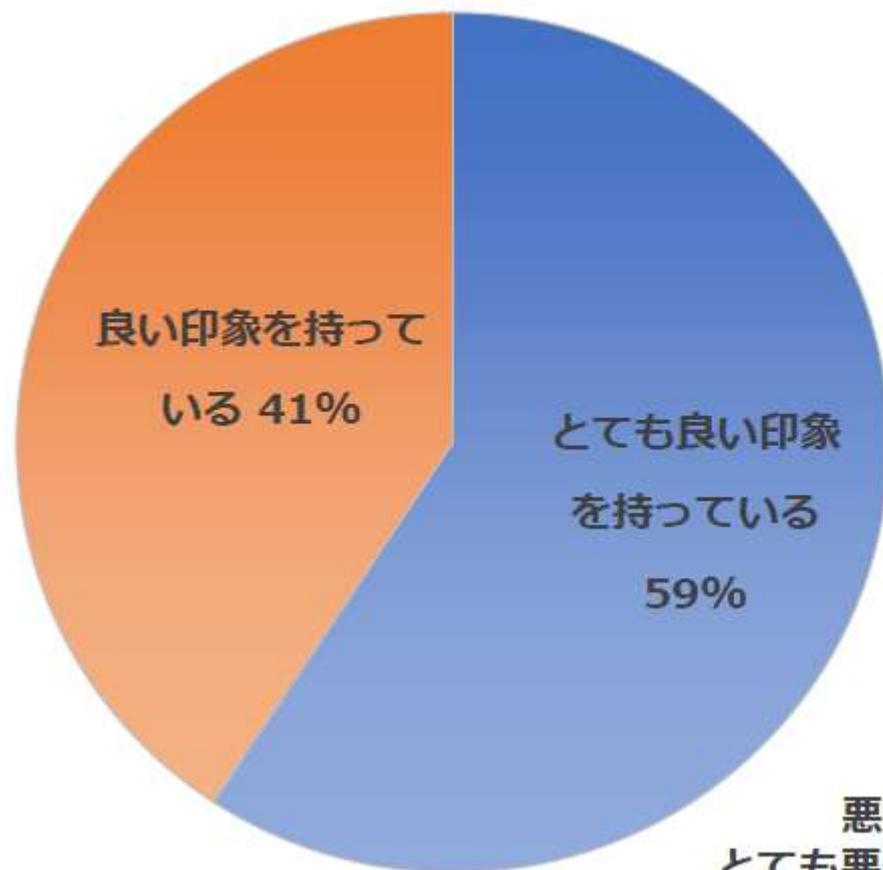
告知方法：電子メール

回答状況：108件（97%）

参加をした印象はいかがでしたか？



100%の方が
良い印象と回答



■ とても良い印象を持っている

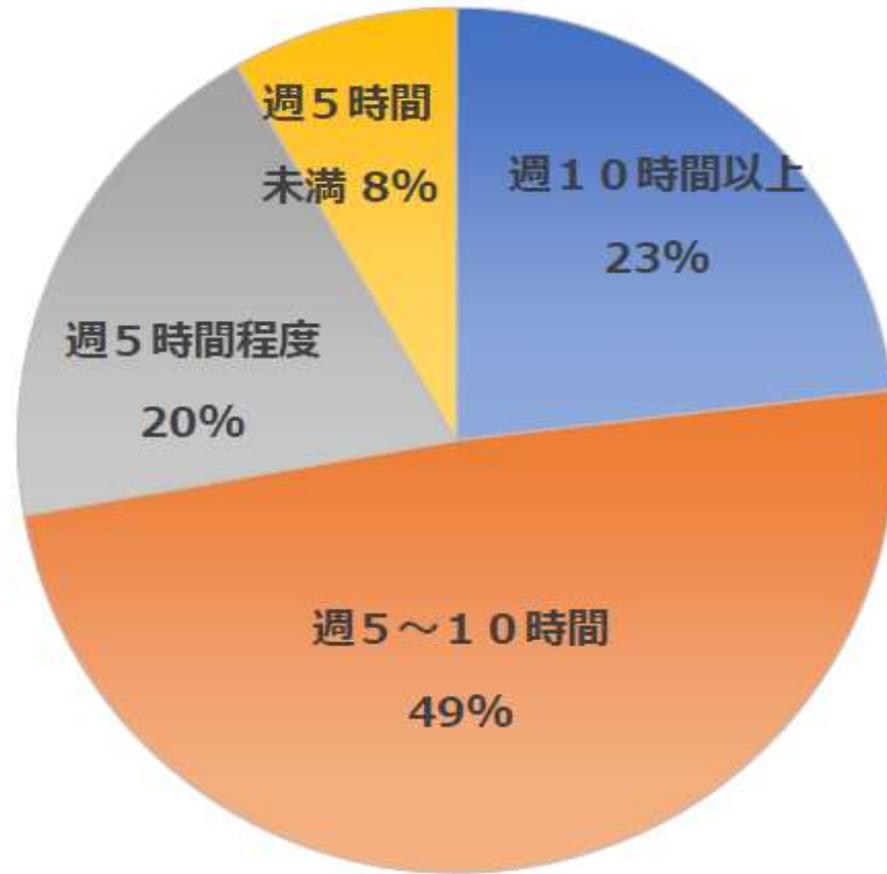
■ 良い印象を持っている

■ 悪い印象を持っている

■ とても悪い印象を持っている

悪い印象を持っている 0%
とても悪い印象を持っている 0%

作業時間は週平均何時間でしたか？

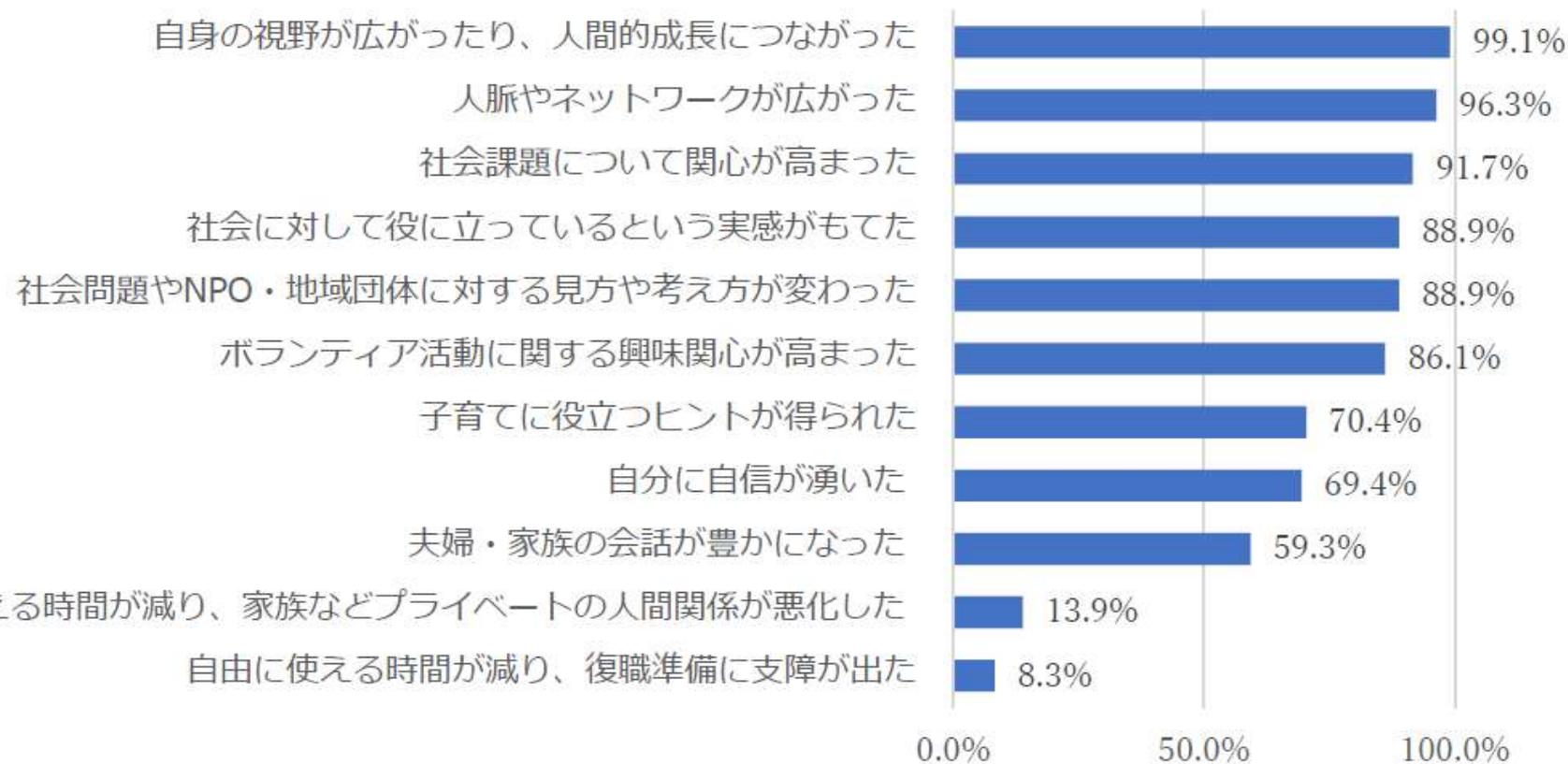


約70%の参加者が
週5時間程度～
10時間で活動

- 週10時間以上
- 週5～10時間
- 週5時間程度
- 週5時間未満

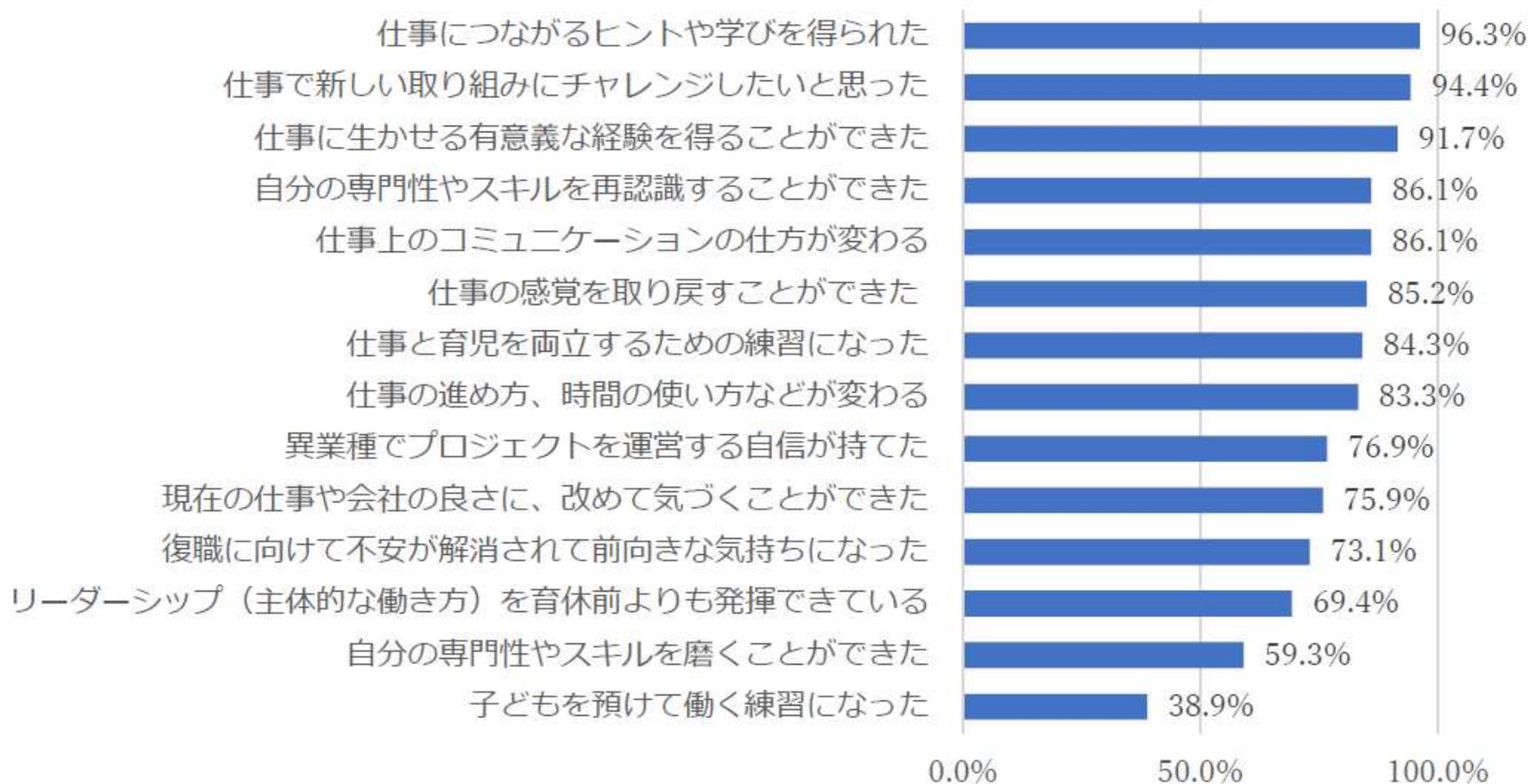
参加したことで、考え方や生活にどのような変化や影響がありましたか？

100%の参加者が、考え方や生活に
何らかのプラスの影響があったと回答



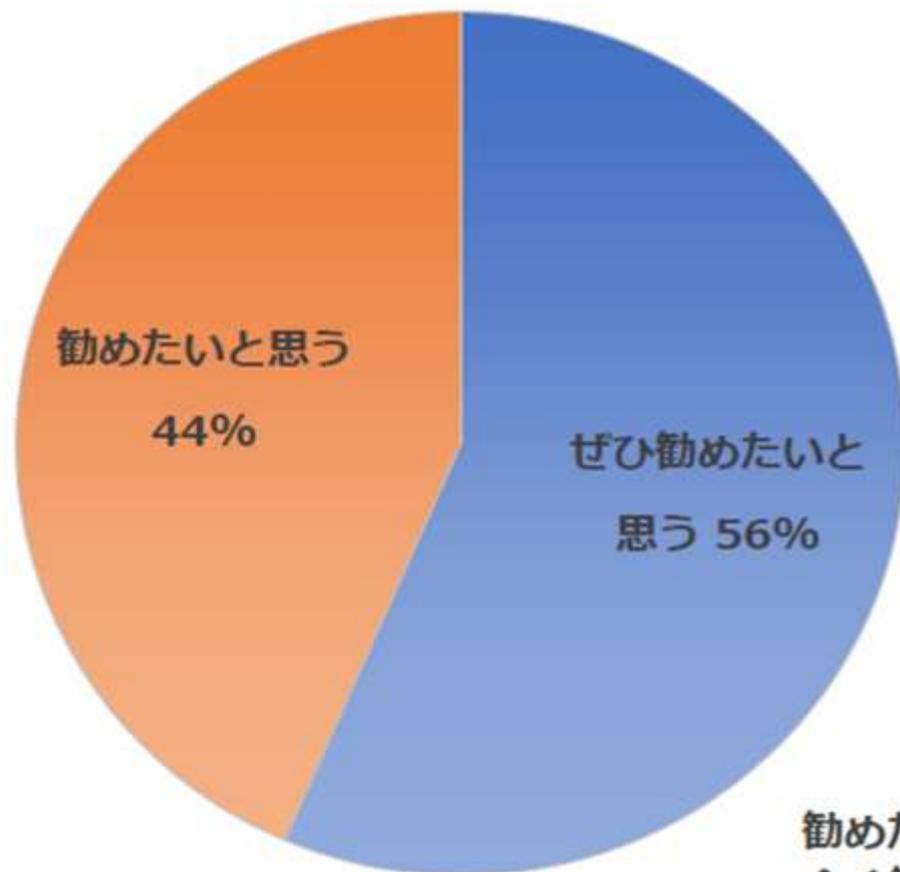
参加したことで、復職や今後の働き方にどのような変化や影響があると思いますか？

100%の参加者が、復職や働き方に
何らかのプラスの影響があったと回答



今後、ママボノやサービスグラントを他の人に 勧めたいと思いますか？

100%の参加者が、
ママボノを他の人に
勧めたいと回答



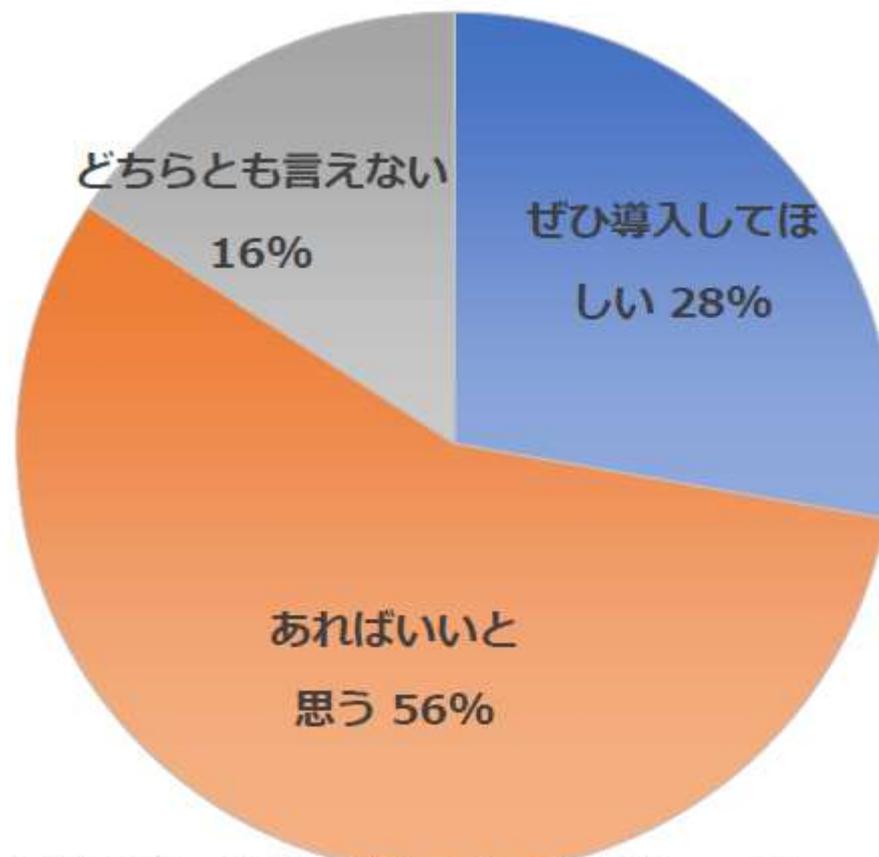
- ぜひ勧めたいと思う
- 勧めたいと思う
- 勧めたくない
- 全く勧めたくない

勧めたくない 0%
全く勧めたくない 0%

自分の働く職場の復職サポートにママボノがあるとよいと思いますか？



84%の参加者が
勤務先での
ママボノ導入に
関心がある



- ぜひ導入してほしい
- あればいいと思う
- どちらとも言えない
- すでに別のプログラムがあるので必要ない

すでに別のプログラムがあるので必要ない 0%

あなたにとって「ママボノ」とは？

ママボノ
mamabono



育休中ママの
経験値アップの場

働く楽しさを
思い出させてくれたもの

社会貢献&
自己成長の場

自分に見えない
スキル発見の場

リハビリと
スキルアップ

他のママたちのエネル
ギーや能力に触れ、刺
激を受けた貴重な経験

支援先と参加者双方に
とって有意義な
素晴らしい仕組み

新たな出会いの場。
新しい自分に。
ワーキングママ友に。

人生の選択肢を
広げる機会

異業種ママと
視野を広げる場

仕事でも子育てでも
共感し合える仲間作り

自分の業界以外を知り、
多様な価値観を
知ることができる場所

5. 支援先アンケート 結果概要

目的：ママボノの効果検証

対象者：ママボノ2017支援先 16団体

回答方法：ウェブ

回答期間：2017年11月29日～2018年1月16日

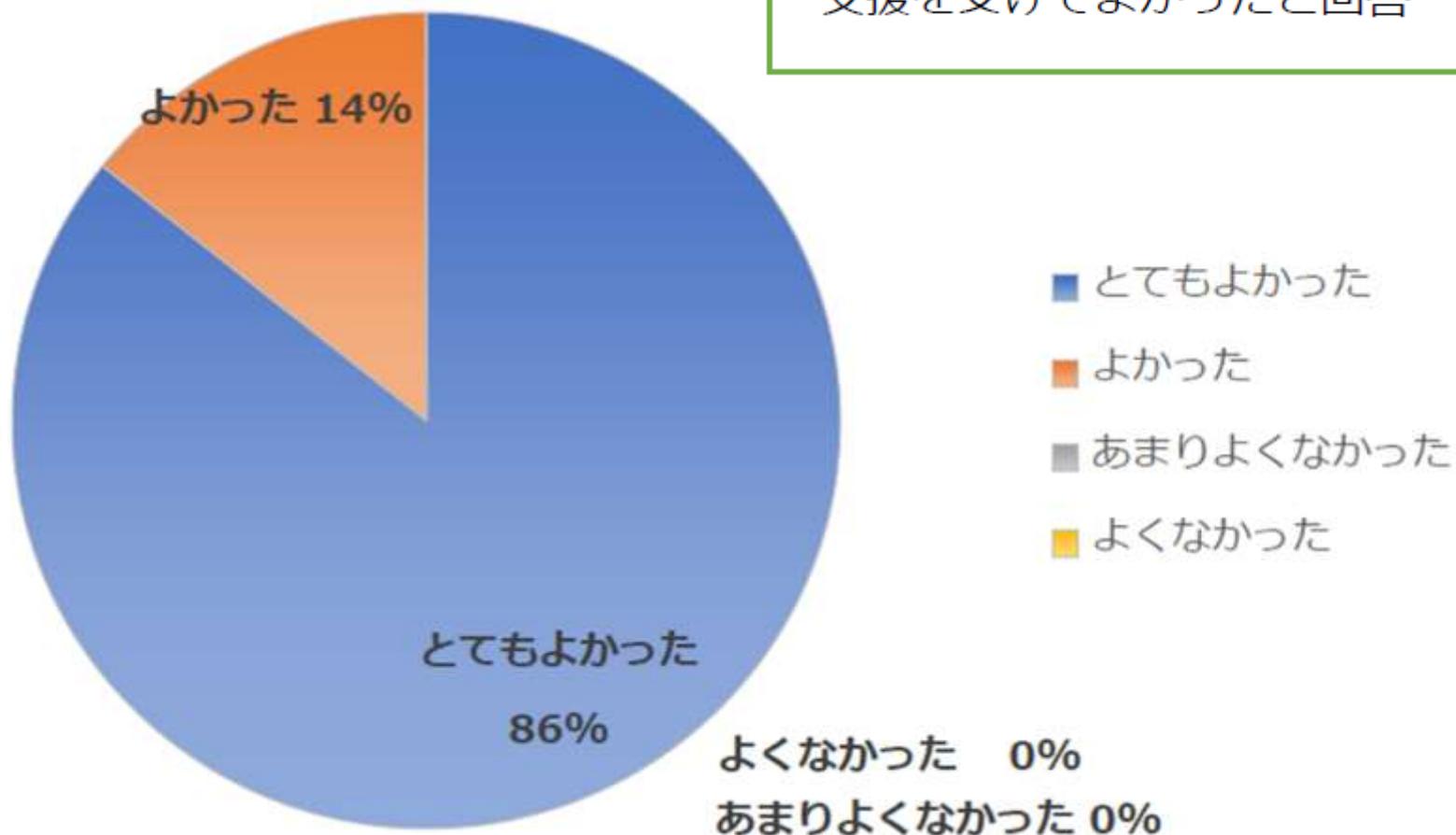
告知方法：電子メール

回答状況：16件（100%）

ママボノ支援を受けてよかったですか？



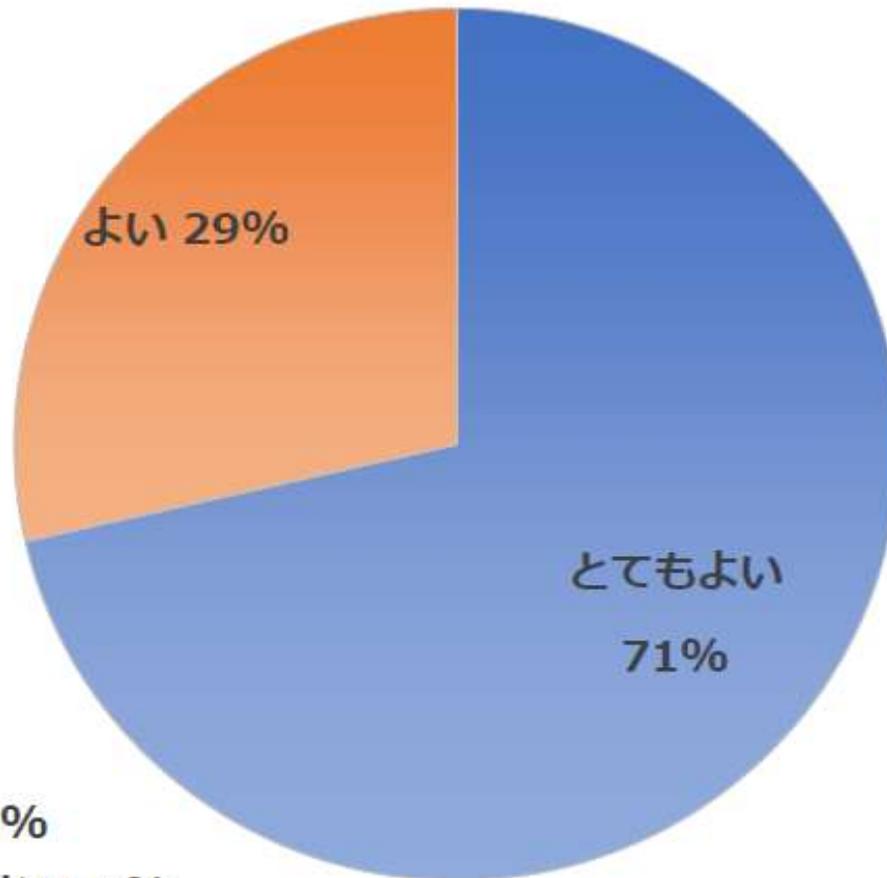
100%の支援先が
支援を受けてよかったと回答



成果物について、どのように感じていますか？



100%の支援先が
成果物に満足



- とてもよい
- よい
- あまりよくない
- よくない

よくない 0%
あまりよくない 0%

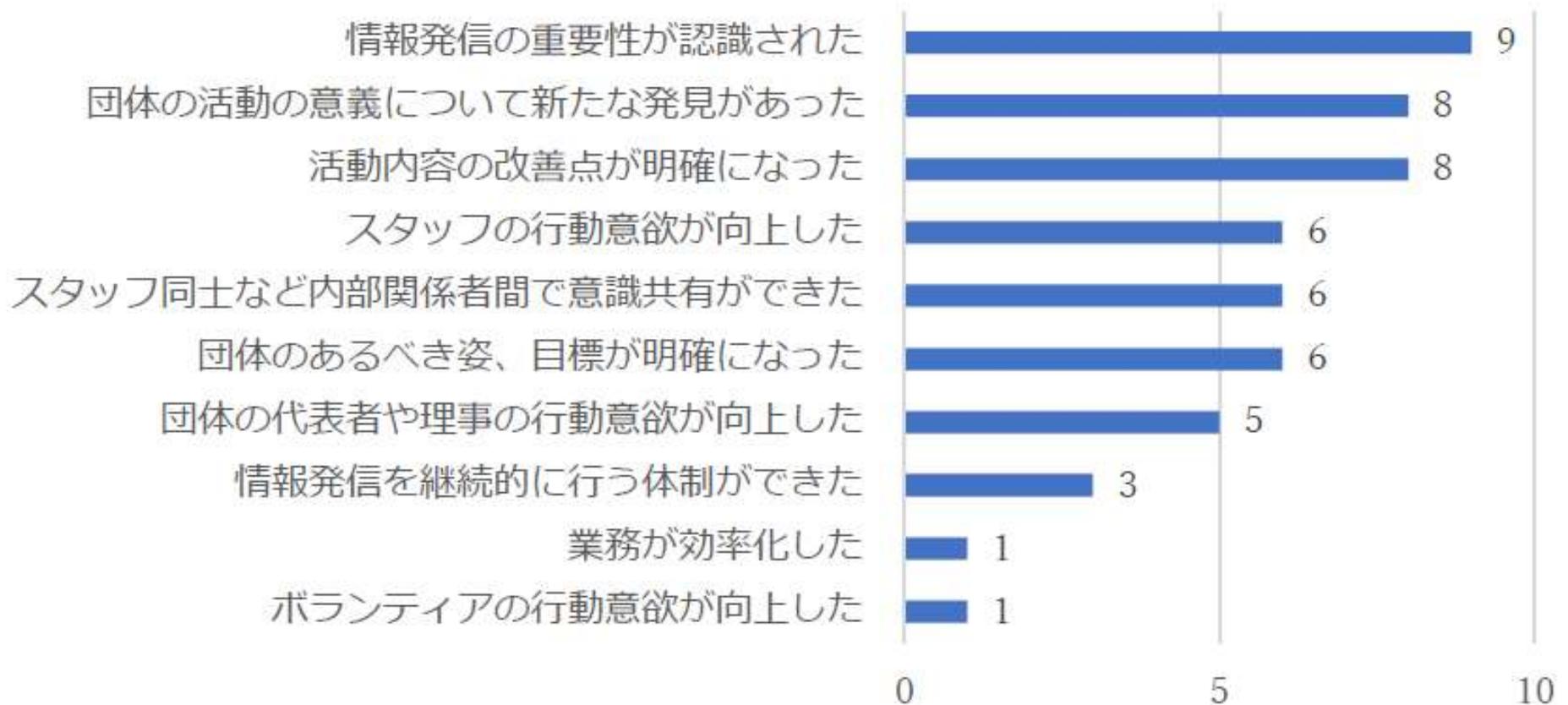
今回の成果物によって、どのような効果を期待していますか？（複数回答可）

100%の支援先が、成果物によって何らかのプラスの効果があると回答



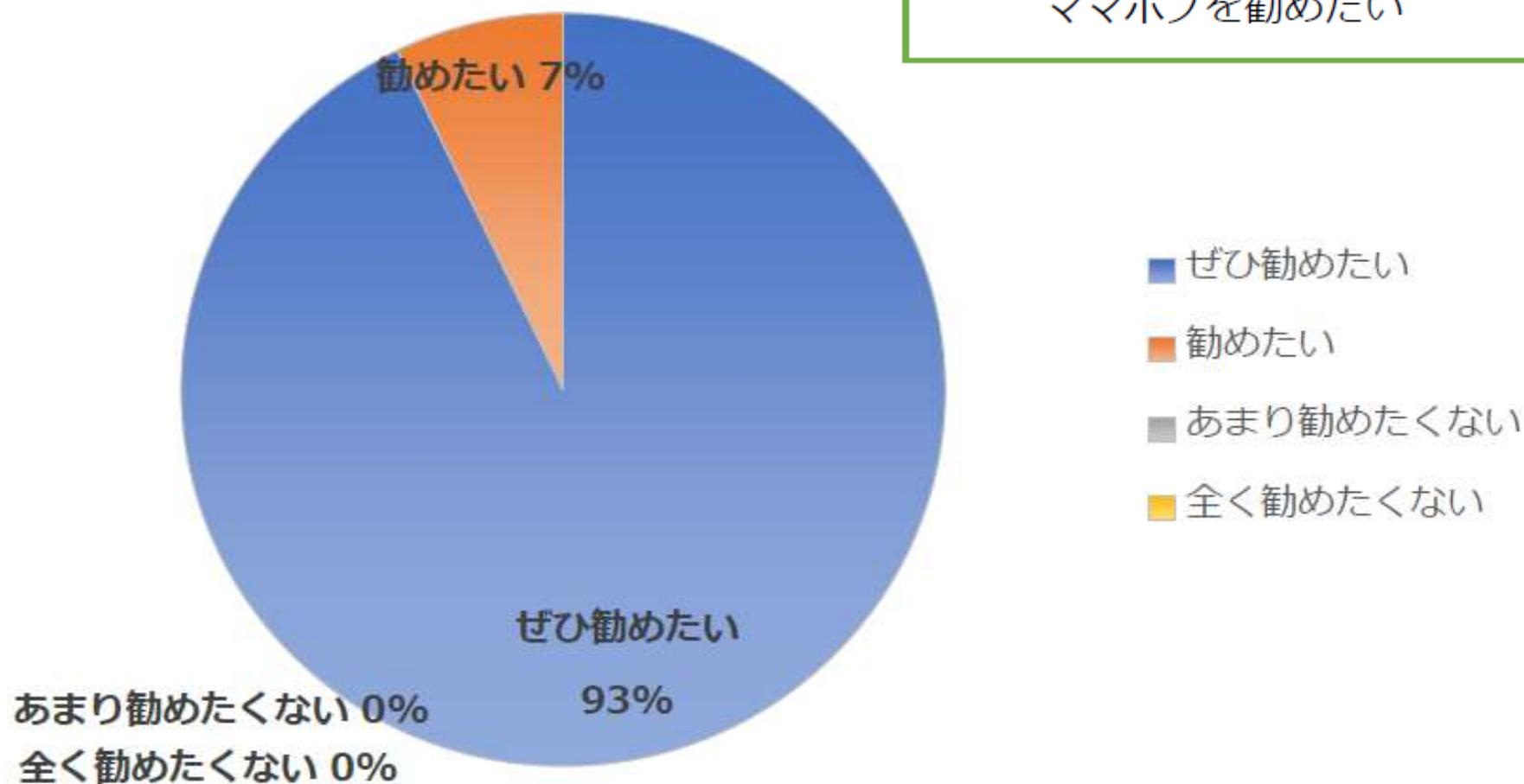
プロジェクトへの参加を通じて、皆さまの 団体に変化はありましたか？（複数回答可）

100%の支援先が、プロジェクトを通じて
団体内に何らかのプラスの変化があったと回答



ママボノを、他の人や団体に勧めたいと思いますか？

100%の支援先が、他の団体に
ママボノを勧めたい



あなたにとってママボノとは何ですか？

ママボノ
mamabono



素敵ママ

頼もしい仲間

活力

確実に背中を押してくれる
サポーター

ママが創る**新しい**
社会参加のカタチ

ママの力による**社会変革への一歩**

仕事も育児も
プロフェッショナルなママ

一言では表せない程
感銘しました

6. 外部アンケート 結果概要



育休後復職アンケートより

2018年3月17日（土）
（株）リクルートマネジメントソリューションズ
組織行動研究所 藤澤理恵

『育休に関するアンケート』 調査概要

■2017年10月に実施

Web調査群

一人目育児 309名

復職から3年半以内

ママボノ経験群

一人目育児 20名

二人以上育児 23名

復職から4年半以内

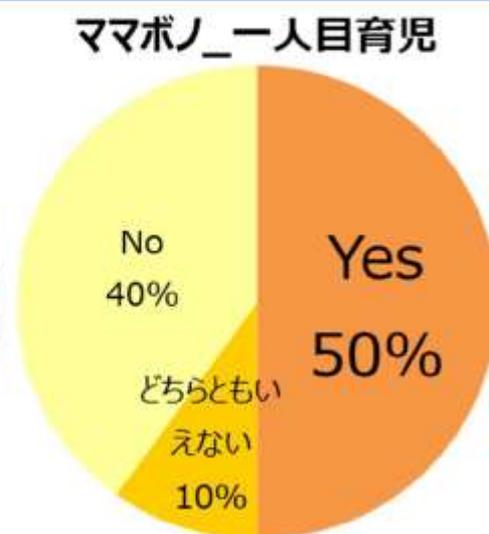
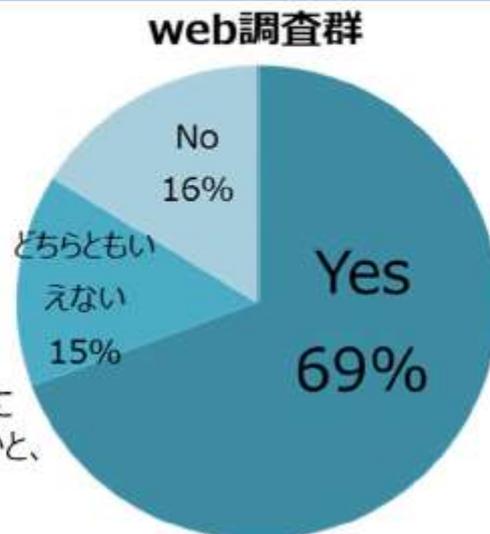
調査目的

- ✓ 育休中、復職への不安があるとしたらどのような内容か
- ✓ ママボノは、どのような経験か
- ✓ 復職後、どのような気持ちで仕事をしているのか

【育休中】両立不安 = 一人目育児への不安 + 仕事成果への不安

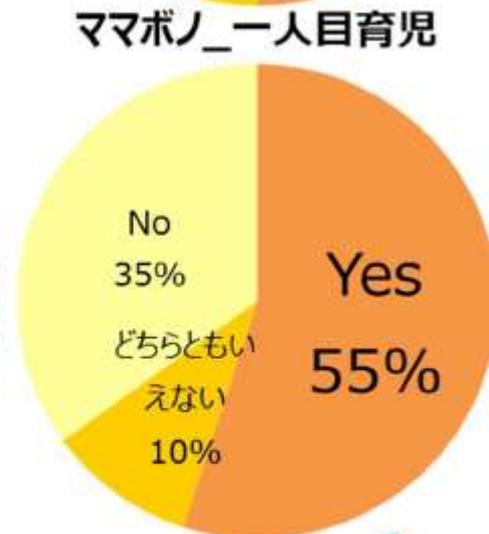
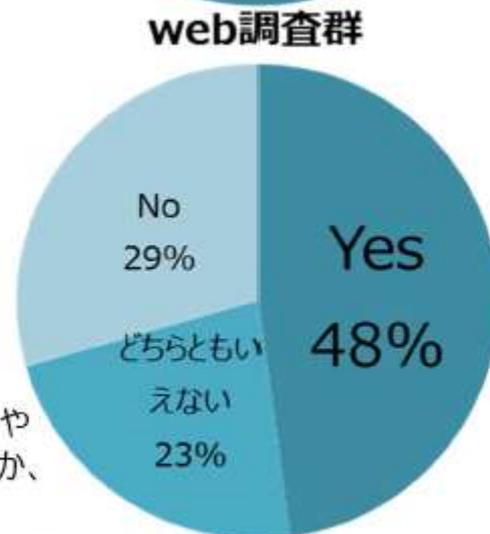
■ 育児への影響への不安 が半数～7割

“復職後に、育児や家庭生活に
よくない影響がでるのではないかと、
不安を感じていた”



■ 仕事の成果への不安が 約半数

“復職後に、仕事を通じて顧客や
会社、社会の役に立っていけるか、
不安を感じていた”

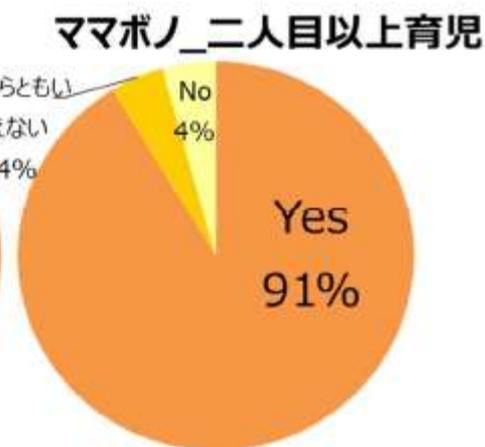
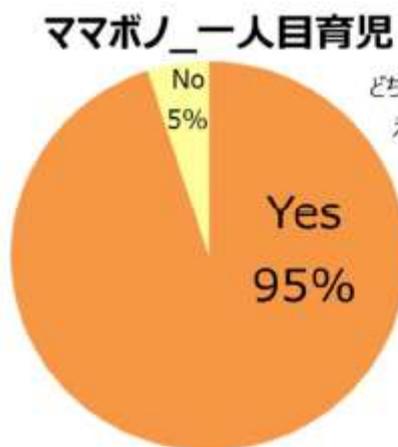
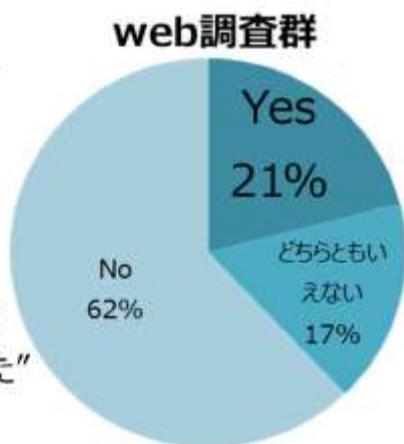


※Yes : あてはまる・ややあてはまる / No:あてはまらない・ややあてはまらない

【育休中】ママボノ群は「越境」を経験

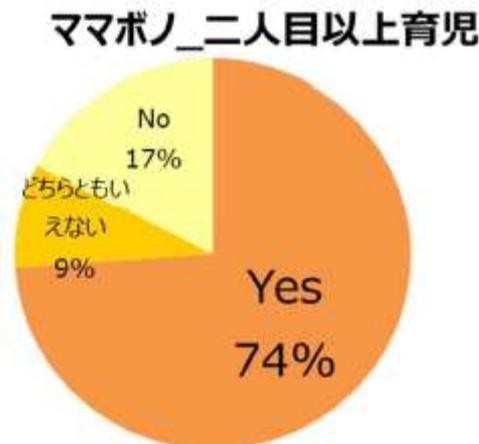
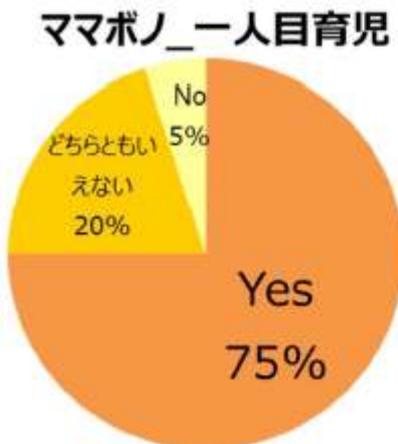
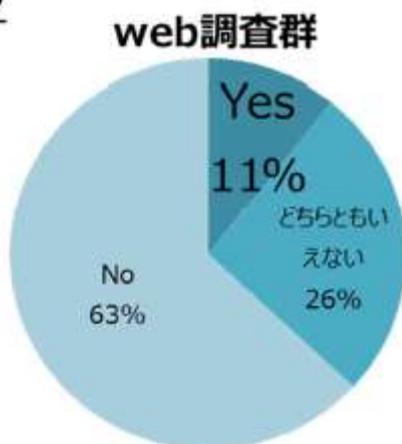
■ 9割が異質な人々との協働を経験

“会社内や業界にはあまりいないタイプの人と協働した”



■ 75%が腕試しの経験

“自分のスキルや能力が社外で通用するのかが試された”

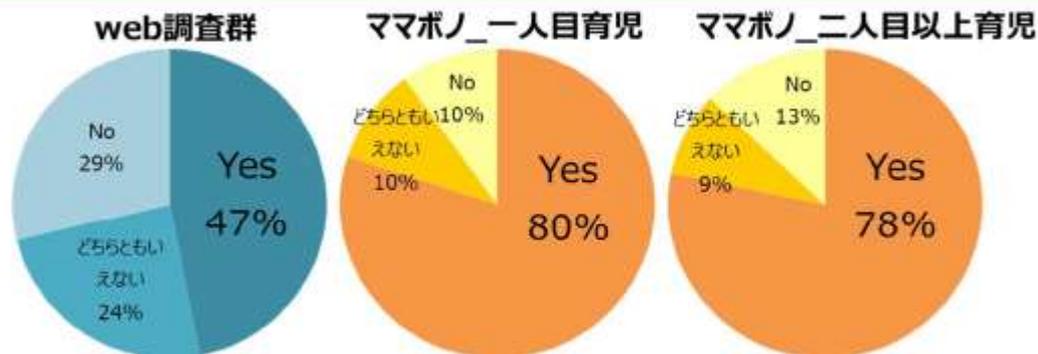


※ Yes : あてはまる・ややあてはまる / No:あてはまらない・ややあてはまらない

【育休中】ママボノ群は、強みや持ち味を見つめ直した

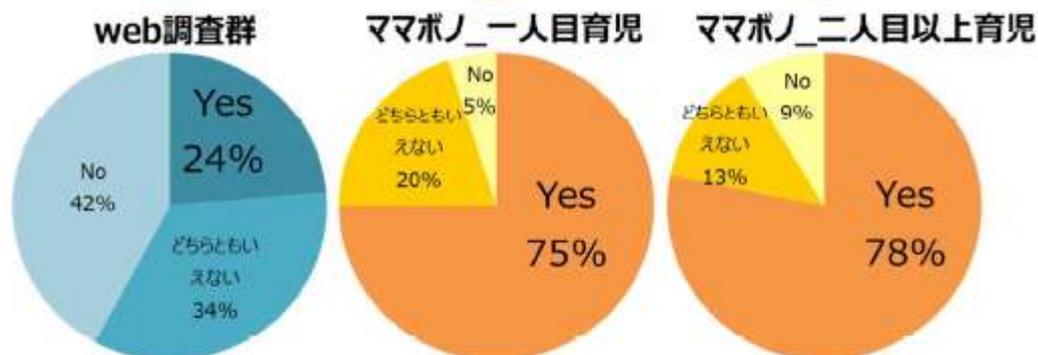
■ 8割が 自分の新しい一面 を発見

“自分の新しい一面を発見した”



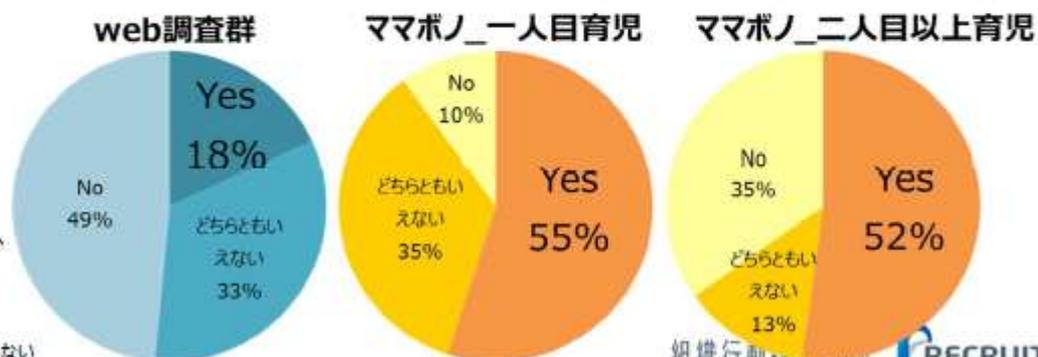
■ 4分の3が 強みなどを具体的に 確認

“自分の仕事上の強み・弱みや、成果を出せる働き方が具体的に確認できた”



■ 半数以上が、 所属企業や業界の 社会的価値を認識

“所属している会社や業界が、社会に提供する価値を具体的に認識した”



※ Yes : あてはまる・ややあてはまる / No: あてはまらない・ややあてはまらない

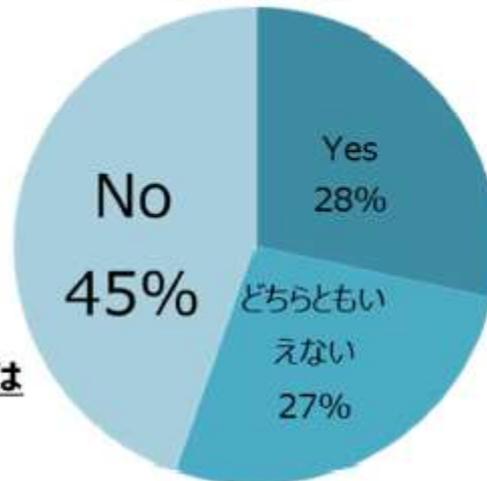
© Recruit Management Solutions Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【復職後】ママボノ群はマミトラ感が低い

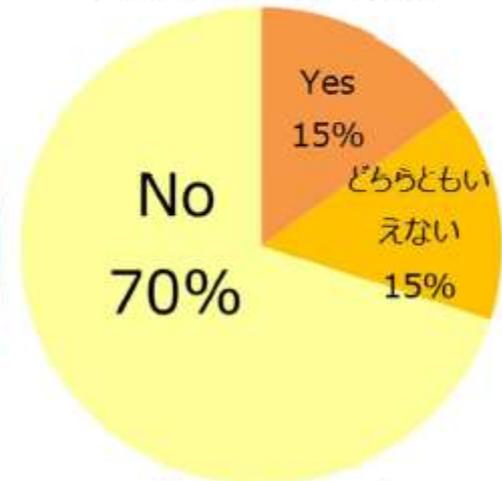
- ママボノ群では、マミトラ感（仕事の割り当てや評価への不全感）を感じる割合が低い

“復職後、休職前よりも、補助的あるいは重要でない仕事を割り当てられるようになったと感じる”

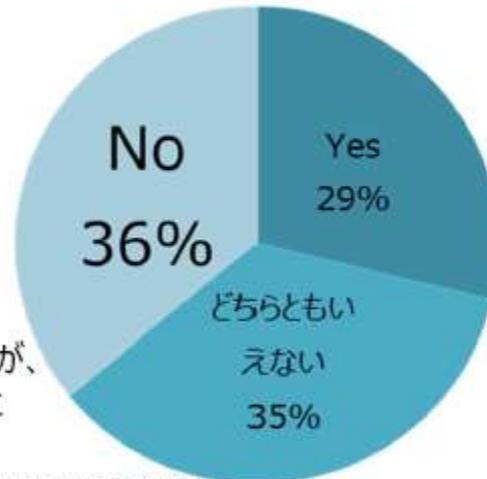
web調査群



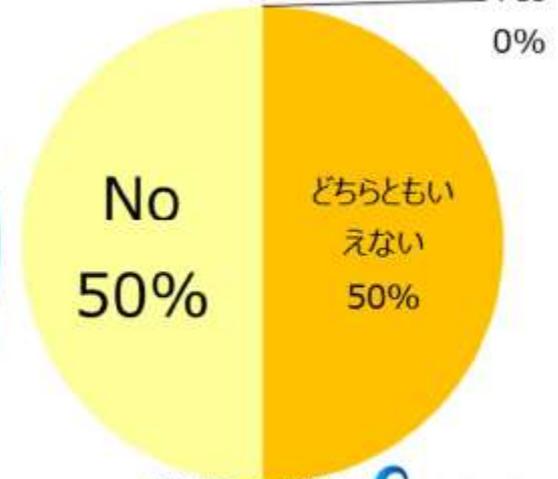
ママボノ_一人目育児



web調査群



ママボノ_一人目育児



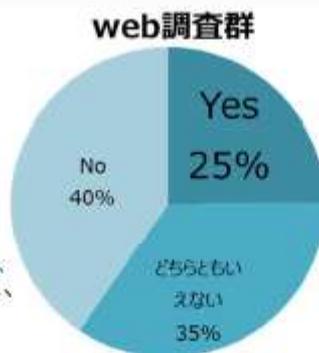
“復職後、自分の仕事上の貢献や成果が、適正に評価・処遇に反映されていないと感じる”

※Yes：あてはまる・ややあてはまる / No:あてはまらない・ややあてはまらない

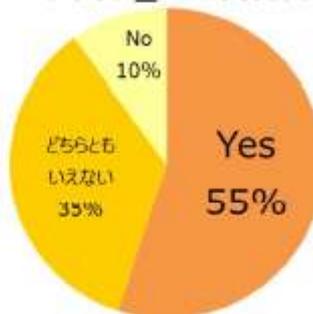
【復職後】ママボノ群は自信を高めて復職している

■ ママボノ参加群は、半数がリーダーシップに自信

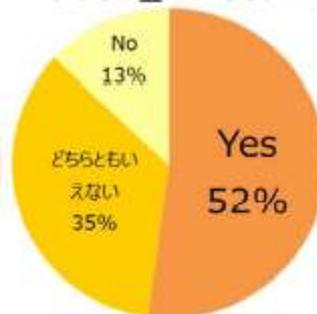
“管理職やプロジェクトのリーダーとなる機会を与えられれば、よい影響を発揮できると思う”



ママボノ_一人目育児

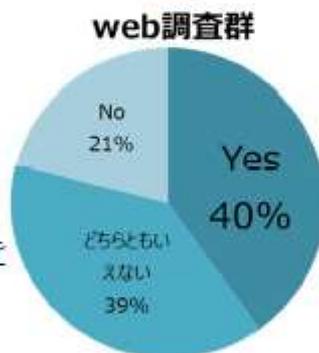


ママボノ_二人目以上育児

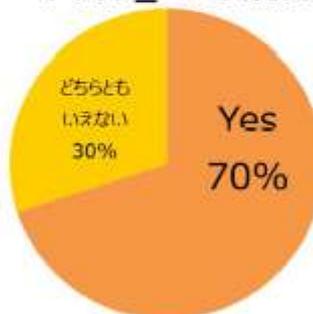


■ 7～8割が職業人としての成長に自信

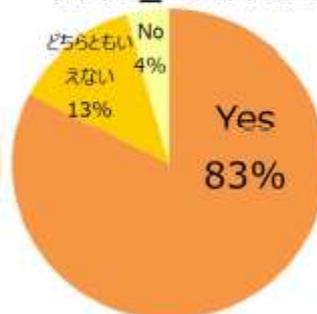
“職業人として、仕事の価値を高めていけると思う”



ママボノ_一人目育児

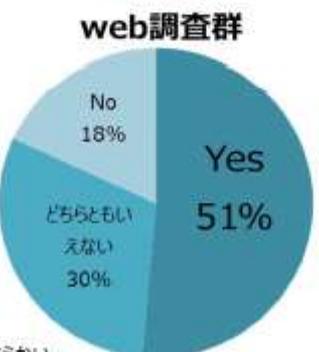


ママボノ_二人目以上育児

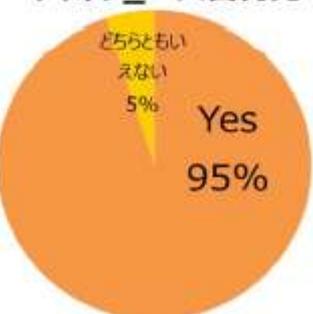


■ 9割が親としての自分を大事にすることに自信

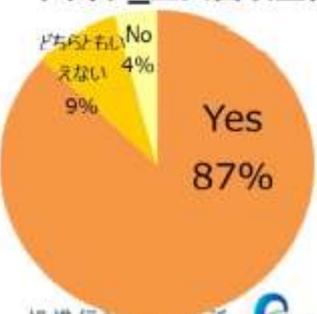
“親としての自分を大事にしていけると思う”



ママボノ_一人目育児



ママボノ_二人目以上育児



※ Yes : あてはまる・ややあてはまる / No : あてはまらない・ややあてはまらない

7. メディア掲載



- ◆ 2017年6月22日 「Mamari」
<https://mamari.jp/23772> “仕事復帰したい、社会とつながりたいママを応援する「ママボノ」という仕組み”
- ◆ 2017年9月号 「City Life」(大阪北摂エリアフリーペーパー)
“復職、再就職する前に…「ママボノ」でウォーミングアップしよう”
- ◆ 2017年9月11日 「NL/Minato」facebookページ
<https://www.facebook.com/nlminato/>
“積極的な育休活用のおすすめ 開催レポート”
- ◆ 2017年9月19日 「Greenz」
https://greenz.jp/2017/09/19/servicegrant_mamabono/
“人生の居場所さがしに相乗りして！ ママがプロボノをする「ママボノ」で気づいた、素の自分がやりたかったこと”
- ◆ 2017年10月7日 「くらしと仕事」
<http://kurashigoto.me/articles/53PXK>
“空白から仕事に戻る！独立？フリーランス？ママたちの疑問に答えるイベント”



- ◆ 2018年2月6日「くらしと仕事」
<https://kurashigoto.me/interview/SFXq5>
“専業ママがママボノで確かめた「働くこと」への思い”
- ◆ 2018年2月6日「渋谷のラジオ」
https://note.mu/shiburadi/n/nc33f0ecdd0ca?magazine_key=m16eb73a2a9e9
- ◆ 2018年2月18日「J-Wave」
<http://www.j-wave.co.jp/blog/news/2018/02/post-5039.html>
“育児しながら働けるかな…不安を解消する「ママボノ」って？”
- ◆ 2018年3月27日「渋谷のラジオ」
<https://note.mu/shiburadi/n/nc8e036cb655e>
- ◆ 2018年4月「朝日新聞」掲載予定（取材完了）
- ◆ 2018年6月頃 オランダテレビ局による取材予定



mamabono
ママボノ

【ママボノ事務局】認定NPO法人 サービスグラント
東京 150-0002 東京都渋谷区渋谷1-2-10
関西 541-0055 大阪府中央区船場中央1-3-2-302
email: info@servicegrant.or.jp tel: 03-6419-4021

ママボノウェブサイト : <http://mamabono.org/>

ママボノFacebook : <https://www.facebook.com/servicegrant.mamabono/>

企画・運営



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION